

■ 会社情報

□ 会社概要

2013年12月31日現在

商号	ホシザキ電機株式会社 (HOSHIZAKI ELECTRIC CO.,LTD.)
所在	本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 (代表電話) 0562-97-2111
設立	昭和22(1947)年2月5日
上場	平成20年12月10日：東京証券取引所市場第一部 並びに名古屋証券取引所市場第一部
資本金	79億1百万円
事業内容	全自動製氷機、業務用冷凍冷蔵庫、 食器洗浄機をはじめとする各種フードサービス機器の 研究開発及び製造販売
決算	12月31日
従業員数	(連結) 11,284名 (単体) 1,211名
連結子会社	国内17社 海外35社(合計52社)

□ 役員

2014年3月27日現在

代表取締役会長	坂本 精志	取締役	丸山 暁
代表取締役社長	鈴木 幸彦	取締役	小林 靖浩
専務取締役	浦田 康博	取締役	小倉 大造
常務取締役	本郷 正己	取締役	尾崎 司
常務取締役	川井 秀樹	常勤監査役	北垣戸 弘充
取締役	小川 恵士郎	監査役	小野田 誓
取締役	高橋 勉	監査役	南館 欣也

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- 配当金のお振込指定手続きについて
配当金の受取り方法として、お振込みによるお受取りをご選択いただくことができます。株券電子化により従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取や、証券会社の口座でも配当金のお受取が可能となります。確実に配当金をお受取いただくためにも、これらの振込による配当金のお受取をお勧めします。詳しくは、お取引証券会社等にお問合せください。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ホシザキ電機株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 総務部総務課
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

株主・投資家の皆さまへ

ホシザキグループ報告書

第68期 (2013年1月1日~12月31日)



証券コード：6465

■ 社長メッセージ



代表取締役社長
鈴木 幸彦

前期に引き続き、売上・利益ともに過去最高を更新。
今後も顧客との信頼関係を基礎とした経営を推し進め、
企業価値の最大化に努めてまいります。

■ 存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

■ 経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和働きやすい職場環境の実現

「良い製品は良い環境から」

フードサービス機器の総合メーカーとして、更なる進化へ

現在当社は、主力製品で国内トップシェア企業

(円グラフは当社の国内シェア/台数ベース)

■ 製氷機

66%

※出所：社団法人日本冷凍空調工業会

■ 業務用冷蔵庫

46%

※出所：社団法人日本冷凍空調工業会

■ 食器洗浄機

44%

※自社推計

■ 生ビールディスペンサ

66%

※国内販売会社における各ビールメーカーのウインドシェアにより算出

(注)食器洗浄機は2011年、他はすべて2013年12月期のデータ

今後の戦略目標

■ 国内

フードサービス機器の総合的な品揃えを強化し、既存市場の深耕と新規市場の開拓を推進

■ 海外

グローバル市場において、既にトップの座にある製氷機に続き、業務用冷蔵庫でもトップシェアを目指す

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要販売先であるフードサービス機器業界において、企業間競争の激化など厳しい環境が続く一方で、国内を中心とした景気回復を追い風に飲食店の設備投資需要が回復してきました。

そうした中、当期(2013年度)の連結業績は、2期連続の増収(前期比14.9%増)、2期連続の営業増益(21.6%増)となり、共に過去最高を更新いたしました。これは、国内外の景気回復効果に加え、中長期的な視点に基づいた戦略・施策、さらには、原価低減や販管費削減などの取り組みなどが奏功したものと考えております。

国内におきましては、大幅な省エネを実現した業務用冷蔵庫の拡販、既存顧客との関係強化や新規顧客の開拓への取り組みなどにより、主力製品およびプレハブ冷蔵庫やスチームコンベクションオーブンなどの戦略製品の販売が好調に推移しました。当社グループは特に、拠点数、人員ともに業界一を誇るメンテナンスサービス部隊が全国津々浦々をカバーしており、営業・サービス連携の体制に基づいて、多くのトップシェア製品を築き上げることができました。こうした事業基盤に加え、積極的な製品開発等により、当社グループは今後、国内市場においては、フードサービス機器のNo.1総合メーカーとして、市場の更なる拡大と深耕による着実な事業拡大を推し進めてまいります。

一方、今後の当社グループの新たな成長の舞台として海外に目を向け、現在、積極的な市場開拓を推し進めております。近年、M&Aを積極化することで、成長著しい海外市場の需要の取り込みを加速させてまいりました。当期は、米国、ブラジル、インドにおいてM&Aを実行し、また韓国で現地法人を設立いたしました。中国・インド・東南アジアなどのアジア市場は、短期的にその動向は不透明ですが、中長期的な成長は確実であり、戦略的に先行投資を続けていきます。今後も、既存拠点の強化に加え、積極的なM&Aを継続し、欧米およびアジアにおけるターゲット市場の開拓を加速していきたくと考えております。これらの取り組みにより、海外では、製氷機に続き、業務用冷蔵庫でもトップシェアの地位を早期に勝

ち取り、ホシザキブランドの価値向上を図ってまいります。

当社グループは、次期(2014年度)においても国内外における戦略を着実に推し進め、売上高2,170億円(前期比5.6%増)、営業利益212億円(同5.7%増)の達成のため、社員が一丸となって業務を遂行してまいります。今後も企業価値の最大化に努めると同時に、株主の皆様への安定的な利益還元を継続してまいります。

株主の皆様には引き続き、当社グループの経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。

■ インフォメーション & トピックス

ホシザキグループは、成長戦略の柱として、新興国マーケットを中心とした事業拡大を積極的に推し進めています。

海外 TOPICS

2013年から本年にかけて、M&Aによる3社の取得と、現地法人2社の設立を行うなど、アジアをはじめとする新興国マーケットへの進出と体制強化を推し進めています。

当社グループは、更なる成長の核となる海外において売上高及び市場シェアの増加を目指し、既に拡充を進めている先進国に加えて、アジアをはじめとする新興国マーケットでの商圏の拡大に取り組んできました。

なかでも2013年は、M&Aにより、1月にインドのウエスタン社、米国のジャクソン社、7月にブラジルのマコム社が新たに仲間に加わりました。また、2013年1月に韓国、2014年2月にはインドネシアに現地法人を設立しています。

今後は、M&Aはもちろんのこと、拡大した拠点との連携により、販売強化、製品開発等へのシナジー効果の創出に向けた取り組みを進めていきます。



1 ウエスタン社

ウエスタン社は、冷蔵ボトルショーケース及び冷蔵・冷凍ストッカーの開発・生産・販売拠点をインド国内に有しています。高品質の製品を開発・生産する技術力と、インド主要市場を網羅する販売・サービス網を強みとする、成長性及び収益性共に優れた企業です。



2 ジャクソン社

ジャクソン社は、業務用食器洗浄機の開発・生産拠点を米国内に有しています。高品質・低コストの製品を開発・生産する技術力を強みとする、成長性及び収益性共に優れた企業です。



3 マコム社

マコム社は、フードサービス機器及び業務用冷蔵庫の開発・生産・販売拠点をブラジル国内に有しています。高品質の製品を開発・生産する技術力と、大手チェーン店等への販売を強みとする、成長性及び収益性共に優れた企業です。



海外マーケットにおける製品ラインナップの拡充、販路の拡大などの直接効果と、既存グループネットワークとのシナジー効果創出による事業拡大を図ります。

国内 TOPICS

顧客満足度の更なる向上に向け、サービス部員から順次タブレット端末の携帯化を推し進めています。

当社では、タブレット端末をサービス部員から順次導入していくことで、新たな効果を発揮していきたいと考えています。

お客様に対しては、大画面を利用した即提案により、提案の短期納期化や提案の分かりやすさを目指します。

- 1 サービス面では、修理提案の質の向上や短期納期化を実現していきます。
- 2 来年以降導入を目指す営業面では、製品買増しや入替え提案を即座に行うことで、お客様のお困り事の早期解決を追求します。

一方、営業・サービス部員にとっては、提案・報告の省力化や事務処理の効率化を果たすことが可能となり、生産性の向上につなげてまいります。



画面のイメージ

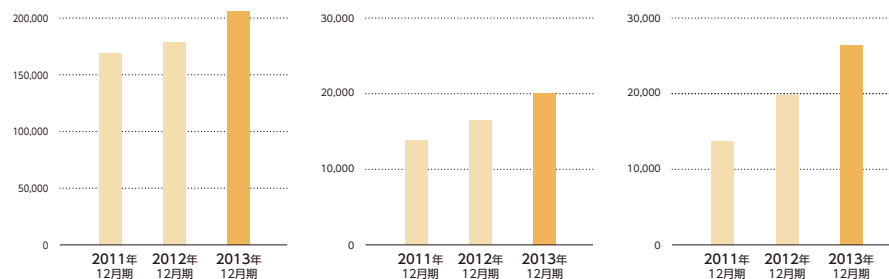
■ 連結財務ハイライト

□ 連結財務ハイライト

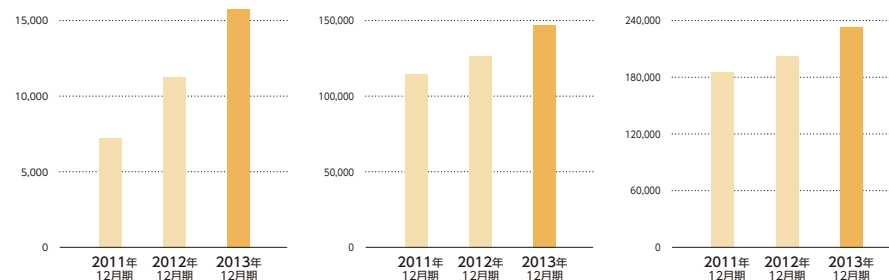
(単位：百万円)

	2011年12月期	2012年12月期	2013年12月期
売上高	169,297	178,863	205,513
営業利益	13,808	16,483	20,052
経常利益	13,750	19,768	26,349
当期純利益	7,220	11,276	15,769
純資産	114,445	126,389	146,930
総資産	185,282	201,787	232,982

□ 売上高 (単位：百万円) □ 営業利益 (単位：百万円) □ 経常利益 (単位：百万円)



□ 当期純利益 (単位：百万円) □ 純資産 (単位：百万円) □ 総資産 (単位：百万円)

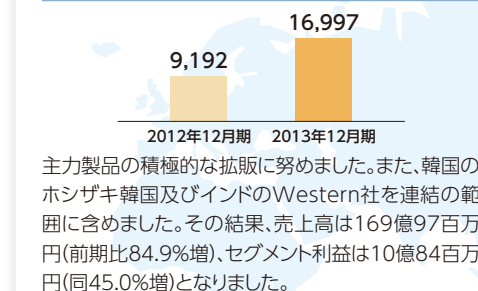


■ 連結セグメント情報

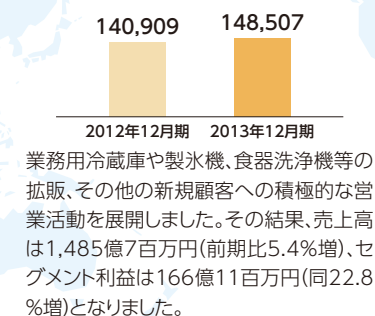
□ 地域別売上高

(単位：百万円)

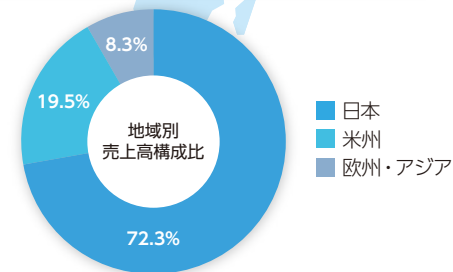
■ 欧州・アジア



■ 日本



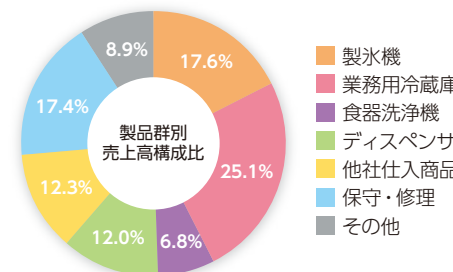
■ 米州



※ エリア等を基軸に各法人を集約した「日本」、「米州」、「欧州・アジア」をセグメントとしております。
 ※ ブラジルのMacom社を新たに連結の範囲に含めたため、報告セグメントの名称を「北中米」から「米州」に変更しております。
 ※ 各地域の売上高は「外部顧客に対する売上高」となっております。

□ 製品別売上高

(単位：百万円)



	2012年12月期	2013年12月期
製氷機	29,744	36,234
業務用冷蔵庫	42,711	51,666
食器洗浄機	10,269	13,872
ディスペンサ	21,783	24,615
他社仕入商品	24,932	25,199
保守・修理	32,977	35,661
その他	16,444	18,264
合計	178,863	205,513

□ 営業概況

事業環境

当連結会計年度における国内の経済環境は、経済対策、金融政策の実施、円安の進行により、企業収益は大企業を中心に改善する等、景気は緩やかに回復してきました。海外においては、米国において、緩やかな景気回復基調が続きました。欧州・アジアにおいては、一部景気底打ちの傾向が見られる一方で、経済環境は依然不透明な状況で推移しました。当社グループを取り巻く環境においても、主要販売先であるフードサービス機器業界において、企業間における競争の激化等により厳しい環境が続く一方で、国内を中心とした景気回復により飲食店の設備投資需要が回復してきました。

業績・成果

このような環境のなか、当社グループは国内では、既存顧客との関係強化及び新規顧客の開拓等に取り組みました。海外では、米州、欧州・アジアにおいて、今後の事業成長のための企業買収を進めてまいりました。また、国内、海外において原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努め、利益の確保にグループをあげて取り組みました。以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,055億13百万円(前期比14.9%増)、営業利益200億52百万円(同21.6%増)、経常利益は、為替差益54億73百万円の計上等により263億49百万円(同33.3%増)となりました。また、当期純利益は、157億69百万円(同39.9%増)となりました。

■ 連結財務諸表

① 流動資産

有価証券が減少しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことから、流動資産は前期末比183億94百万円増加し、1,604億69百万円となりました。

② 固定資産

建物及び構築物、機械装置及び運搬具、のれんが増加したことから、固定資産は前期末比128億円増加し、725億13百万円となりました。

③ 資産合計

流動資産、固定資産ともに増加したことから、総資産は前期末比311億95百万円増加し、2,329億82百万円となりました。

□ 連結貸借対照表

	当期末	前期末	増減額
	2013年12月31日現在	2012年12月31日現在	
資産の部			
① > 流動資産	160,469	142,074	18,394
現金及び預金	109,745	98,504	11,240
受取手形及び売掛金	21,518	18,529	2,988
有価証券	2,701	5,314	△2,612
商品及び製品	10,213	7,384	2,829
仕掛品	2,768	2,101	666
原材料及び貯蔵品	7,402	5,096	2,306
繰延税金資産	3,064	2,606	458
その他	3,156	2,622	534
貸倒引当金	△102	△84	△17
② > 固定資産	72,513	59,712	12,800
有形固定資産	41,496	37,909	3,586
建物及び構築物(純額)	16,288	14,450	1,837
機械装置及び運搬具(純額)	6,498	5,046	1,451
工具、器具及び備品(純額)	1,915	1,609	306
土地	15,921	15,565	356
リース資産(純額)	65	73	△7
建設仮勘定	806	1,165	△358
無形固定資産	20,961	11,896	9,065
のれん	11,789	6,664	5,124
その他	9,172	5,231	3,940
投資その他の資産	10,054	9,907	147
繰延税金資産	5,808	6,004	△196
その他	4,489	4,017	472
貸倒引当金	△242	△114	△127
③ > 資産合計	232,982	201,787	31,195

(単位：百万円)

	当期末	前期末	増減額
	2013年12月31日現在	2012年12月31日現在	
負債の部			
流動負債	65,908	56,455	9,453
支払手形及び買掛金	12,922	9,727	3,194
未払金	12,259	10,550	1,709
未払法人税等	5,352	5,064	287
前受金	16,949	15,305	1,643
賞与引当金	2,632	2,335	296
製品保証引当金	1,051	878	172
その他	14,740	12,593	2,147
固定負債	20,144	18,942	1,201
繰延税金負債	4,564	3,354	1,210
退職給付引当金	13,779	13,398	381
役員退職慰労引当金	505	480	25
製品保証引当金	438	308	129
その他	855	1,400	△545
負債合計	86,052	75,397	10,654
純資産の部			
株主資本	145,208	131,501	13,706
資本金	7,901	7,850	51
資本剰余金	14,423	14,372	51
利益剰余金	122,884	109,279	13,604
自己株式	△0	△0	△0
その他の包括利益累計額	249	△5,256	5,505
その他有価証券評価差額金	146	△58	205
為替換算調整勘定	102	△5,197	5,300
少数株主持分	1,472	144	1,327
純資産合計	146,930	126,389	20,540
負債純資産合計	232,982	201,787	31,195

④ 流動負債

支払手形及び買掛金、未払金、前受金が増加したことから、流動負債は前期末比94億53百万円増加し、659億8百万円となりました。

⑤ 固定負債

繰延税金負債、退職給付引当金が増加したことから、固定負債は前期末比12億1百万円増加し、201億44百万円となりました。

⑥ 負債合計

流動負債、固定負債ともに増加したことから、負債合計は前期末比106億54百万円増加し、860億52百万円となりました。

⑦ 純資産

利益剰余金、為替換算調整勘定、少数株主持分が増加したことなどから、純資産は前期末比205億40百万円増加し、1,469億30百万円となりました。

■ 連結財務諸表

□ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2013年 1月 1日～ 2013年12月31日	前期 2012年 1月 1日～ 2012年12月31日	増減額	
売上高	205,513	178,863	26,650	< 8
売上原価	125,326	109,541	15,784	
売上総利益	80,187	69,321	10,865	
販売費及び一般管理費	60,135	52,838	7,297	
営業利益	20,052	16,483	3,568	< 9
営業外収益	6,569	3,417	3,152	
受取利息	416	372	44	
為替差益	5,473	2,555	2,917	
その他	679	489	190	
営業外費用	272	132	139	
支払利息	111	11	100	
その他	160	121	39	
経常利益	26,349	19,768	6,581	< 9
特別利益	3	2	0	
固定資産売却益	3	2	0	
特別損失	76	95	△19	
固定資産廃棄損	38	68	△30	
固定資産売却損	36	10	26	
減損損失	—	16	△16	
その他	1	0	1	
税金等調整前当期純利益	26,276	19,675	6,601	
法人税、住民税及び事業税	11,399	8,759	2,640	
法人税等調整額	△851	△349	△502	
法人税等合計	10,547	8,410	2,137	
少数株主損益調整前当期純利益	15,728	11,264	4,464	
少数株主損失 (△)	△41	△11	△30	
当期純利益	15,769	11,276	4,493	< 10

□ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 2013年 1月 1日～ 2013年12月31日	前期 2012年 1月 1日～ 2012年12月31日	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,212	16,568	3,644	< 11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,489	△13,498	9,008	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,499	△2,092	592	
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,987	371	1,616	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,211	1,350	14,861	
現金及び現金同等物の期首残高	36,498	35,148	1,350	
現金及び現金同等物の期末残高	52,710	36,498	16,211	< 12

8 売上高

厳しい経営環境は続く一方で、景気回復により顧客の設備投資需要が回復する中、国内では積極的な拡販活動や新規顧客の開拓等に努め、海外では今後の事業成長のための企業買収を進めた結果、売上高は前期比14.9%増の2,055億13百万円となりました。

9 営業利益／経常利益

増収効果に加え、原価低減、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努めた結果、営業利益は前期比21.6%増の200億52百万円となり、経常利益は、円安の進行による為替差益54億73百万円も加わり、前期比33.3%増の263億49百万円となりました。

10 当期純利益

当期純利益は、前期比39.9%増の157億69百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、202億12百万円の収入となりました。これは主に、法人税等の支払額(110億53百万円)がありましたが、一方で、税金等調整前当期純利益(262億76百万円)、減価償却費(52億32百万円)などがあったことによるものです。なお、フリーキャッシュ・フロー(営業活動CF+投資活動CF)は、157億円と高水準の資金状態を確保しております。また、当期における投資活動では、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出86億83百万円、事業譲受による支出38億24百万円がありました。

12 現金及び現金同等物の期末残高

営業活動によるキャッシュ・フローの収入増、投資活動によるキャッシュ・フローの支出減などの結果、現金及び現金同等物の期末残高は前期末に比べ162億11百万円増加し527億10百万円となりました。

■ 株式関連情報 (2013年12月31日現在)

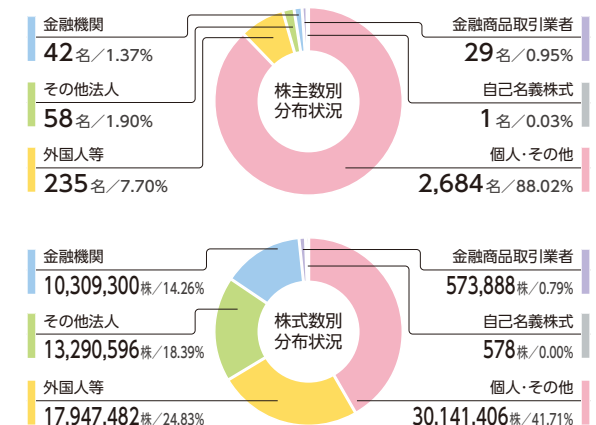
□ 株式の状況

発行可能株式総数	250,000,000 株
発行済株式の総数	72,263,250 株
株主数	3,049 名

□ 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社	6,203	8.58
公益財団法人ホシザキグリーン財団	5,800	8.02
ホシザキグループ社員持株会	3,726	5.15
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,902	4.01
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー・レギュラー・アカウント	2,064	2.85
真木 薫	1,757	2.43
稲森 美香	1,722	2.38
真木 豊	1,707	2.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,602	2.21
森井 純子	1,530	2.11
伊東 由美	1,530	2.11

□ 株式分布状況



■ 国内外ネットワーク (2013年12月31日現在)

ホシザキ電機株式会社	
● 本社 / 愛知県 豊明市	● 島根本社工場 / 島根県 雲南市
国内グループ会社	
● ホシザキ北海道株式会社 / 北海道 札幌市	● ホシザキ京阪株式会社 / 大阪府 大阪市
● ホシザキ東北株式会社 / 宮城県 仙台市	● ホシザキ阪神株式会社 / 大阪府 大阪市
● ホシザキ北関東株式会社 / 埼玉県 さいたま市	● ホシザキ中国株式会社 / 広島県 広島市
● ホシザキ関東株式会社 / 東京都 文京区	● ホシザキ四国株式会社 / 香川県 高松市
● ホシザキ東京株式会社 / 東京都 港区	● ホシザキ北九州株式会社 / 福岡県 福岡市
● ホシザキ湘南株式会社 / 神奈川県 横浜市	● ホシザキ南九州株式会社 / 鹿児島県 鹿児島市
● ホシザキ北信越株式会社 / 石川県 金沢市	● ホシザキ沖縄株式会社 / 沖縄県 那覇市
● ホシザキ東海株式会社 / 愛知県 名古屋	● 株式会社ネスター / 愛知県 大府市
	● サンセイ電機株式会社 / 島根県 雲南市
海外グループ会社	
● HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC. / 米国	● Jackson WWS, Inc. / 米国
● HOSHIZAKI AMERICA, INC. / 米国	● LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ
● HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	● INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ
● HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	● SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V. / メキシコ
● HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	● Aços Macom Indústria e Comércio Ltda. / ブラジル
● HOSHIZAKI NORTHCENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	
● HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	● Hoshizaki Europe Holdings B.V. / オランダ
● HOSHIZAKI NEW ENGLAND DISTRIBUTION CENTER, INC. / 米国	● HOSHIZAKI EUROPE LIMITED / 英国
● LANCER CORPORATION / 米国	● Hoshizaki Europe B.V. / オランダ
● ADVANCED BEVERAGE SOLUTIONS, LLC / 米国	● GRAM COMMERCIAL A/S / デンマーク
● Gramm WWS, Inc. / 米国	● GRAM UK LIMITED / 英国
● LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ	● Gram Deutschland GmbH / ドイツ
● INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE / メキシコ	● Gram Nederland B.V. / オランダ
● SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V. / メキシコ	● Graminoks Sogutucu Sanayi ve Ticaret A.S. / トルコ
● Aços Macom Indústria e Comércio Ltda. / ブラジル	● HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD / シンガポール
	● HOSHIZAKI LANCER PTY LTD / 豪州
	● HOSHIZAKI LANCER LIMITED / ニュージーランド
	● Lancer Europe N.V. / ベルギー
	● Western Refrigeration Private Limited / インド
	● Western Coolers and Freezers Private Limited / インド
	● 星崎 (中国) 投資有限公司 / 中国
	● 星崎冷熱機械 (上海) 有限公司 / 中国
	● 星崎電機 (蘇州) 有限公司 / 中国
	● 台湾星崎股份有限公司 / 台湾
	● 星崎香港有限公司 / 香港
	● Hoshizaki Korea Co., Ltd. / 韓国